



平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年3月13日

上場会社名 株式会社スリー・ディー・マトリックス 上場取引所 東(JASDAQグロース)  
 コード番号 7777 URL http://www.3d-matrix.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 健太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 新井 友行 (TEL)03(3511)3440  
 四半期報告書提出予定日 平成27年3月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第3四半期の連結業績(平成26年5月1日~平成27年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	0	△100.0	△1,513	—	△1,422	—	△1,587	—
26年4月期第3四半期	56	—	△1,048	—	△1,057	—	△1,058	—

(注) 包括利益 27年4月期第3四半期 △1,632百万円(—%) 26年4月期第3四半期 △1,058百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	△75.95	—
26年4月期第3四半期	△54.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第3四半期	7,156	6,737	89.8
26年4月期	4,120	3,133	70.5

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 6,422百万円 26年4月期 2,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年4月期	—	0.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日~平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51	△52.3	△1,984	—	△1,884	—	△2,080	—	△99.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年4月期3Q	21,369,200株	26年4月期	19,876,400株
27年4月期3Q	112株	26年4月期	112株
27年4月期3Q	20,903,291株	26年4月期3Q	19,531,313株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは主要技術である自己組織化ペプチド技術による医療製品の開発に引き続き注力しております。

吸収性局所止血材（TDM-621）について、平成26年1月にCEマーキングの指令適合を受けたことにより（CEマーキングの指令適合を受けた製品名「PuraStat®」）、CEマーキングを適用する地域への販売及び臨床試験を実施せずに製品登録申請をすることが可能となりました。これを受け当社グループは、欧州において、有力施設での臨床使用を開始いたしました。当社グループは引き続き有力施設へPuraStat®の採用向上に向け臨床使用を拡大してまいります。また、並行して、欧州での販売パートナーとの販売提携についても引き続き交渉を進めてまいります。

欧州以外の地域について、CEマーキングを利用したPuraStat®の製品展開に向け、事業を進めております。当社シンガポール子会社である3-D Matrix Asia Pte. Ltd.を中心に平成26年6月にはシンガポール、7月にはインドネシアでの製品登録申請を行い、平成26年9月にはシンガポールにおける医療機器製品登録承認を取得いたしました。また、平成26年9月には香港において臨床使用が開始されました。今後も引き続き、アジア、オセアニア地域でのPuraStat®の製品展開を進めてまいります。

さらに、PuraStat®の南米への展開を進めるため、平成26年6月にブラジルに子会社を設立し、南米地域での製品登録準備、販売提携先の探索を進めており、平成26年10月にはチリにおいて臨床使用が開始されました。

当社グループは、今後もCEマーキング適用地域においてPuraStat®の臨床使用拡大を進めてまいります。同時に、製品販売を順次開始していく予定であります。

その他、日本国内については、平成23年5月31日付で独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）に製造販売承認申請を行い、審査に関する対応および協議を進めてまいりましたが、当社が製造販売承認を取得するためには、有効性についてより精度の高い検証が必要との結論に至り、平成27年3月13日付で承認申請を一旦取り下げ、新たに臨床試験を実施し再度製造販売承認申請を行うことといたしました。現在、臨床試験実施に向けての詳細な検討を進めており、来期中の臨床試験開始を計画しております。また米国においては、米国内での臨床試験の開始に向け、米国食品医薬品局（FDA）と協議を進めており、中国本土においても臨床試験の開始に向けた準備を進めております。

その他パイプラインでは、歯槽骨再建材（TDM-711）については、米国において臨床試験の拡大に向けFDAと協議を進めております。

粘膜隆起材（TDM-641）については、平成26年12月より臨床試験を開始しておりましたが、臨床試験症例において、前臨床試験の結果より想定した有効性に対して十分な結果が得られない傾向にあることから、有効性をより明確にできる試験方法および製剤の開発等を検討するために、臨床試験を自主的に一時中断することといたしました。

創傷治癒材（TDM-511）については、米国において、平成26年10月にFDAに対して510（k）の申請を行い、平成27年2月に510（k）の承認を取得しております。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、事業収益は一千円（前年同四半期比56,465千円減少）、経常損失1,422,977千円（前年同四半期は経常損失1,057,846千円）、四半期純損失1,587,562千円（前年同四半期は四半期純損失1,058,596千円）となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメント（医療製品事業）であるため、セグメントごとの記載はしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は7,156,154千円（前連結会計年度末比3,035,185千円の増加）となりました。

流動資産につきましては、6,551,717千円（同2,959,092千円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金の増加2,950,992千円によるものです。

固定資産につきましては、604,436千円（同76,093千円の増加）となりました。これは主に、特許権の取得等に伴う無形固定資産の増加51,519千円及び投資その他の資産に含まれる長期前払費用の増加26,104千円によるものです。

負債につきましては、418,183千円（同569,434千円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の減少600,000千円によるものです。

純資産につきましては、6,737,971千円（同3,604,619千円の増加）となりました。これは主に四半期純損失による利益剰余金の減少1,587,562千円はあるものの、公募増資等による資本金の増加2,575,180千円及び資本剰余金の

増加2,575,148千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年4月期の連結業績予想につきましては、本日（平成27年3月13日）発表いたしました「平成27年4月期業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ」において連結業績予想を修正しておりますのでご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,640,535	5,591,527
たな卸資産	789,397	803,350
その他	162,692	156,839
流動資産合計	3,592,625	6,551,717
固定資産		
有形固定資産	103,471	98,664
無形固定資産		
のれん	256,668	204,167
その他	82,259	186,279
無形固定資産合計	338,927	390,446
投資その他の資産	85,945	115,325
固定資産合計	528,343	604,436
資産合計	4,120,969	7,156,154
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	800,000	200,000
未払法人税等	10,469	12,235
その他	147,883	184,073
流動負債合計	958,353	396,309
固定負債		
その他	29,263	21,873
固定負債合計	29,263	21,873
負債合計	987,617	418,183
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,338,757	5,913,937
資本剰余金	3,328,660	5,903,808
利益剰余金	△3,791,587	△5,379,149
自己株式	△59	△59
株主資本合計	2,875,772	6,438,537
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	29,451	△15,862
その他の包括利益累計額合計	29,451	△15,862
新株予約権	228,128	315,296
純資産合計	3,133,352	6,737,971
負債純資産合計	4,120,969	7,156,154

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
<b>事業収益</b>		
売上高	6,388	-
研究開発事業収益	50,077	-
事業収益合計	56,465	-
<b>事業費用</b>		
売上原価	2,634	-
研究開発費	427,616	602,618
販売費及び一般管理費	675,048	911,254
事業費用合計	1,105,299	1,513,872
営業損失(△)	△1,048,833	△1,513,872
<b>営業外収益</b>		
受取利息	257	1,926
為替差益	18,570	131,094
補助金収入	1,099	87
その他	402	399
営業外収益合計	20,329	133,508
<b>営業外費用</b>		
支払利息	8,449	7,104
支払手数料	4,536	3,232
株式交付費	15,615	32,045
その他	740	229
営業外費用合計	29,342	42,613
経常損失(△)	△1,057,846	△1,422,977
<b>特別損失</b>		
和解金	-	160,375
特別損失合計	-	160,375
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,057,846	△1,583,352
法人税、住民税及び事業税	712	907
法人税等調整額	37	3,302
法人税等合計	749	4,210
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,058,596	△1,587,562
四半期純損失(△)	△1,058,596	△1,587,562

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,058,596	△1,587,562
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	141	△45,314
その他の包括利益合計	141	△45,314
四半期包括利益	△1,058,454	△1,632,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,058,454	△1,632,876
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成26年1月31日)

当社グループは、単一セグメント(医療製品事業)のため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)

当社グループは、単一セグメント(医療製品事業)のため記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年5月1日 至 平成26年1月31日)

株主資本の著しい変動

当社は、平成25年7月23日を払込期日とする公募による新株式発行を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,144,687千円、資本準備金が1,144,687千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,338,253千円、資本剰余金が3,328,164千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)

株主資本の著しい変動

当社は、平成26年7月9日を払込期日とする海外募集による新株式発行を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が2,525,712千円、資本準備金が2,525,712千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が5,913,937千円、資本剰余金が5,903,808千円となっております。

(重要な後発事象)

平成27年3月13日の取締役会において、平成23年5月31日付で独立行政法人医薬品医療機器総合機構に提出した吸収性局所止血材の製造販売承認申請を取り下げること決議しました。

今後、新たな臨床試験を実施した上で、吸収性局所止血材の製造販売承認申請を再度行う予定ではありますが、再申請の時期については未定であります。

また、当該決定により、次期以降に新たな臨床試験にかかる研究開発費が計上されることとなりますが、現時点での研究開発費の算定は困難であります。